

県央支部主催「 国立音楽大学見学会 」 報告

「原君、私の大学で素敵な建物が出来たので見に来たら」と、日本屈指のクラリネット演奏家であり国立音楽大学教授より話があり、リーフレットを見せていただきました。とても良い建物で、一人で見るのはもったいなく、仲間と見たいと感じ、見学会を実施させて頂きました。



心配していました天気は快晴で、見学会を楽しく過ごせる予感がしました。

参加者は27名で、新1号館の設計者であります、松田・平田設計担当者よりスライドを交え、細部に渡り丁寧に説明して頂き、建物と向かい合う設計者の情熱と愛情を感じました。

上階に行くほどセットバックしていき、中庭を形成する形態の建物に設計されています、中庭にはシンボリツリーがあり学生達の憩いの場に成っており、屋外コンサート等イベントが開かれているとの事でした。

建物内部は、優れた音響設備を備えたコンサートホール、個人レッスン用の教室が数多く配置され、其々の部屋に光が漏れ、プロフェッショナル集団を生み出す環境が整っていると感じました。

国立音大には、もう一つの誇りある建物があります、前川國男氏設計の講堂です、グランドオルガンの雄大さは圧巻であり、神聖な気持ちにさせてくれます。又講堂の説明は昨年まで現役学生だった方より頂き、音に対する新鮮で鋭い感性が伝わってきました。

又竣工後30年経過していますが、メンテナンスは一切していないと言う事にも驚愕いたしました。

当日は大学関係者の御尽力で、素晴らしい建物に触れ、建築は楽しく、美しいと感じた一日でした。

懇親会には設計者の方々にも参加して頂き、楽しいひと時を過ごさせていただきました。



2014/9/7 原 昌吾